



Optics & Photonics Japan 2006

ナノオプティクス研究グループ企画シンポジウム

ナノ領域の光科学技術の展開

近年、ナノオプティクス分野では、近接場光を利用した超高密度データストレージやナノリソグラフィーが実用化レベルに到達するとともに、近接場光相互作用に基づくナノ構造の光制御素子、ナノフォトニクススイッチから、ナノ光機能素子とこれに基づく情報処理システム構築に至るまで、多様な先進研究が展開しており、バイオ分野、化学分野における応用の広範な発展とあいまって、ナノオプティクスはまさに次世代科学技術の基盤になろうとしています。

このセッションでは、ナノオプティクスの基礎にある近接場顕微分光装置がどこまで完成度を高めているか、近接場光加工・記録はどこまで進んだか、化学・バイオ分野への展開、プラズモニクスの展開の基礎となるものはなにか、ナノオプティクスに基づくナノ光機能システムはどのような可能性を持つかという、ナノオプティクスの全貌とその展開を把握するために不可欠なキーポイントについて、分かりやすく総合的な展望をしたいと思います。

会場 学術総合センター（一橋記念講堂） 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

営団地下鉄半蔵門線 / 都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A8,9 出口

営団地下鉄東西線「竹橋」1b 出口 徒歩 3~5 分

参加登録 OPJ2006 への参加登録が必要です。下記ホームページからお申し込みください。

日時 2006 年 11 月 8 日(水) 13:00 ~ 17:20

プログラム

13:00-13:40 ナノフォトニクスを支える分光分析の最先端

成田 貴人 (日本分光株式会社)

13:40-14:20 近接場光を利用したナノ加工・近接場光 CVD と近接場光リソグラフィ

川添 忠 (科学技術振興機構)

14:20-15:00 近接場光による熱アシスト磁気記録のシミュレーション

赤城 文子 (日立製作所 中央研究所)

< 休憩 >

15:20-16:00 ナノフォトニクスの有機材料・バイオ分野への応用

梶川 浩太郎 (東京工業大学 総合理工学研究科)

16:00-16:40 プラズモニクス ~ 低次元光波の原理とナノ光導波路への展開

高原 淳一 (大阪大学 大学院基礎工学研究科)

16:40-17:20 システムから見た近接場光相互作用の基本機能

成瀬 誠 (情報通信研究機構・東京大学)

OPJ2006 ホームページ <http://www.opt-j.com/opj2006/>

連絡先(企画担当) 堀 裕和 (山梨大学) hirohori@yamanashi.ac.jp